

## レニアスのポリカーボネート窓

# 三菱ふそう、バス後面に



【福山】レニアス（広島県三原市、前田導社長、0848・86・1137）のポリカーボネート製窓が、三菱ふそうトラック・バスの大型観光バスの車両後面窓に採用された（写真）。バスの後面窓で「ガラス以外

のポリカーボネート製窓が標準装備されるのは世界初」（レニアス）という。年間750台分を納入する。

三菱ふそうが9月に発売したバス「エアロクイーン」に「エアロエース」に搭載されている。ガラス窓に比べてポリカーボネート製の窓は重量を7割軽減できるのが特徴で、車両の軽量化につながる。紫外線に強い高耐候やキズがつかない高耐摩耗といったハードコーティング技術が採用の決め手になった。

レニアスは10億円を投じて、本社工場に4000トンの射出圧縮成形機などを導入し、歪みがなく

板圧が均一なポリカーボネート製窓の一貫生産体制を整えている。

車両ガラスのポリカーボネート製への置き換え需要をにらんで、欧州の安全ガラス規格の認証も取得済み。同社では「ポリカーボネート製窓で平

面のほか、曲面加工も可能。車両側面窓への採用に向けて営業を続ける」計画だ。